

授業科目	臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程)： 臨床腫瘍栄養学		
区分・単位	講義 2単位	年次・期別	在学期間中・通年
曜日・時限	e-learning	教室	e-learning
担当教員	竹谷豊教授(臨床食管理学)		
一般目標	がんの治療における栄養の意義や栄養管理法について、標準的な治療の考え方や手法を理解し、栄養の重要性について考察する。		
到達目標	各種がんの病態・治療について理解し、がん診療にあたって、他の医療職種と共通の理解を得る。		
成績評価基準 成績評価方法	レポート提出により成績を評価する。		
概要	<p>&lt;がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. がんの疫学と予防</li> <li>2. がんの発生メカニズム</li> <li>3. がんの化学療法</li> <li>4. 抗がん剤の副作用</li> <li>5. がんの放射線療法</li> <li>6. がんの集学的治療</li> </ol> <p>&lt;がん緩和医療&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 緩和医療概論(または、緩和ケア概論)</li> <li>8. 身体症状マネジメント</li> <li>9. ソーシャルサポート</li> <li>10. 地域連携の勘所(がん拠点病院の地域医療連携)</li> </ol> <p>&lt;臨床腫瘍栄養学各論&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. ライフステージ(小児、AYA 世代、高齢者)別の栄養管理</li> <li>12. がん悪液質と栄養</li> <li>13. がんの経腸栄養管理</li> <li>14. がん補完代替医療ガイドライン</li> <li>15. がん予防のための栄養と身体活動</li> </ol> <p>* 講義の1～11については、中国・四国広域がんプロの e-learning を利用し、必要な講義を選択して受講してください。該当する講義が複数ある場合は、12～15の講義は、別途指示します。レポートについては、講義内容をA4用紙1枚以内に記載し、竹谷まで提出してください。(e-learning のレポート提出システムは使用しないでください。)</p> <p>** 受講方法、および講義の選択については、担当の竹谷教員に相談してください。</p>		
テキスト・参考書等			
研究活動との関連			